

地球惑星科学委員会 IAVCEI 小委員会(第 21 期・第 1 回)  
議事録

1. 日時 平成 21 年 5 月 17 日 (日) 12:20~12:50
2. 会場 幕張メッセ国際会議場 1F ロビー
3. 出席者：(順不同、敬称略)  
石原和弘(京大防災研)・鍵山恒臣(京大理)・篠原宏志(産総研)・清水 洋(九大理)・高橋正樹(日大文理)・中田節也(東大地震研)・藤田英輔(防災科研) 計 7 名 (欠席；藤井敏嗣(東大地震研))
4. 配布資料  
資料 1 前期・第 2 回 IAVCEI 小委員会議事録  
資料 2 日本学術会議地球惑星科学委員会  
IUGG 分科会第 21 期・第 1 回議事要旨(案)  
資料 3 IUGG 分科会・IAVCEI 小委員会 委員推薦資料  
資料 4 日本学術会議地球惑星科学委員会組織図及び日本の展望委員会組織図

5. 議事概要

(1) 役員選出

・委員の互選により、中田委員を委員長に、藤田委員を幹事に選出した。

(2) 地球惑星科学委員会、IUGG 分科会、および地球惑星科学連合の活動報告

・中田委員長より、地球惑星科学委員会が「日本の展望」の草稿に盛り込む事項をとりまとめていることや、IUGG 分科会での外国派遣推薦の順番、IAGA 会長選挙の調査依頼を IUGG 執行部にしたことなどの報告がされた(資料 2・3・4 参照)。

・IUGG への日本の分担金が、ISCU の日本の分担金増によるしわ寄せで、今年度は全額支払えないため、日本がオブザーバに格下げになる可能性があることが報告された。

・2011 年の IUGG 総会メルボルン大会に向けて、今秋開催されるサイエンスコミティーまでに、アソシエーション間にまたがるテーマのセッション提案が求められていることが報告された。例えば、IASPEI,IAVCEI の共同提案などが好まれる。

・藤田幹事から、地球惑星科学連合国際委員会の活動報告があった。インターナショナルセッションへ、アジアからの参加者に対し、JSPS の旅費補助が活用されたことの報告があった。

(3) IAVCEI 小委員会の今期の活動について

・IAVCEI2013 年総会が鹿児島市で開催されることが昨年夏のアイスランドの IAVCEI 執行委員会で決定された。これに伴って、日本火山学会に IAVCEI 準備委

員会を設置したこと、平成 15 年 7 月下旬開催を予定していることが報告された。  
また、英文の記念出版物等を検討することとなった。

・次期の IAVCEI 執行委員会（2011.7-2015.6）に、日本から委員を送り込むことについても意見交換した。